

## 国立大学法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の追加認定について

## 1. 概況

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」（以下「戦略・意欲」）として、15 法人から以下のとおり 33 件の中期計画について追加（継続）申請があった。

各法人の申請調書では、新たに「戦略・意欲」への認定を希望する中期計画としては、指定国立大学法人に指定されたこと（東京工業、名古屋、大阪）や徳島県及び四国地域における教員養成・研修の高度化の取組の実施（鳴門教育）に伴い変更・追加する中期計画が挙げられている。

また、既に「戦略・意欲」に認定されている中期計画のうち、法人の機能強化に向けて更に具体的な計画とするための変更を行うものについて、継続認定の申請がなされている。

	申請法人数	ユニット数	中期計画数	全中期計画数総計
今回申請分（新規）	4		15	6, 108
〃（継続）	11	24	18	
総計	84	293	747	

## 2. 認定申請があった中期計画の具体例

（1）指定国立大学法人への指定に伴い中期計画の追加・変更を行う例（新規）

## 大阪大学

ユニット名：「知の統合学修」プラットフォームの構築によるグローバル社会で活躍する高度人材の育成

中期計画：（中期計画の追加）

教育研究環境の一層のグローバル化を図るため、グローバルナレッジパートナーとの連携を開始するなど、世界の有力大学との組織間連携を促進する。さらに、「アジアの知のネットワーク」の形成を目指して、平成 32 年度を目途に、「大阪大学 ASEAN キャンパス」を設置し、高度グローバル人材を育成する。

（2）法人の機能強化に向けて中期計画の変更を行う例（継続）

## 上越教育大学

ユニット名：教育委員会や学校現場との連携・協働による教員養成機能の強化

中期計画：（中期計画の変更（下線が変更箇所））

大学院が実施する学校実習等を組織的に円滑に実施するため、上越市、妙高市、糸魚川市及び柏崎市の教育委員会及び校長会の協力を得て「学校実習コンソーシアム上越」を設立し、地域全体で学校実習等を支える体制を整備するとともに、小・中学校等が抱える課題を解消するための「学校支援プロジェクト」及び「課題研究プロジェクト」による学校実習等を、毎年度 35 校以上で実施する。

### 3. 認定にあたっての作業方針

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の認定にあたっては、以下（A）～（C）に掲げる要件に合致するかを確認するとともに、原則として各法人の申請内容を最大限尊重するものとする。

- （A）法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの
- （B）取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの
- （C）法人の機能強化に向けて法人の強み・特色を一層強化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの

※ 以下に示すようなケースに該当する場合は、（A）～（C）に掲げる要件に合致しないものとして、認定の対象外とする。

- ① 当該中期計画を戦略性が高く意欲的であると法人が考える理由が判別できないもの
- ② 既に多くの国立大学が取り組んでいる、又は取り組もうとしている事柄・取組に関する中期計画で、特にどのような点が認定の方針A～Cに該当すると考えているのかが示されていないもの
- ③ 法人が戦略性が高く意欲的であると考えられる取組・事柄の具体的な内容が不明であり、認定の方針（A～C）に該当するかの判断が困難であるもの

### 4. 留意点

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」については、達成状況のみを評価の対象とするのではなく、その状況にいたるまでのプロセスや内容を評価することとしていることや、今回申請があった「理由」に具体的な取組や達成指標等を記載しているケースがあるため、前回同様、今回認定する「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の評価にあたっては、「理由」に記載されている取組や達成指標も併せて考慮する。